

の聖人と叫ばれしは、何れも絶大の抱負と確たる根據に立脚し安心立命を如實に行へる大偉人である。然るに現今の社會狀態を達見するに思想界の惑亂物質界の恐怖何等確固の根據もなく堅忍不拔の自覺信念もなし。

吾人は佛敎界の一人として國民の無自覺を悲まざるを得ず。第二の國家を荷ひ立つ可き吾々青年僧侶は、須らく自身を知り、自己の人格を尊重し自己の自己に非ずして、國家の一國民であり、社會の一員であり、家族の一人であり、我が一言一行、直に一家族、一社會、一國家に影響を有する、大なる自己なるを自覺せねばならぬ。所謂自己は單なる自己に非ずして、一言一行微細なる行爲も盡く大なりとせば確然たる自覺と、大なる理想抱負とを以て重大なる天職を完うせん事を希望して止まざるなり。終り。

虹影の凝視

岡 観 修

此の虹影の凝視は大正九年十一月十三日大崎日蓮宗大學中等部主催都下中學校雄辯大會に出演せる原稿である

高山幽邃の間に、湯々たる聲を上げ、瀑々たる音を立てて九天の空より落つる奔瀧の、其の沫から現れた虹影は、人間不斷の、努力の影で有ります。

父秩の連山を背景とせる、代々木ヶ原に鎮座左す、明治大帝の英靈は、我等七千萬同胞の動脈に通ふて、吾人不斷の力となり。建國の大本を物語つて居るので有る。

惟ふに、金錢、名譽地位もて、人間の價値は、評價し得べきものでは、有りません。世界第一のリッチマンで有る、カーネギーも、遂に彼の生命を、永遠に購求する、黄金は有たなかつたので有る。彼の、慘虐極まれるルイ十四世の不倫の名譽は、遂に我々を指導し感化すべき、滅せざる名

譽では無かつたので有る。

年々歳々花相似たり、年々歳々人相同じからず、紅顔の年少何時しか額には青海の波を漂はせ、腰にはあづさの弓を張る、人事の悲哀は朝露の消ゆるが如く、心有る者の等しく、悚慄する所有る如何にせば、是の如き、大苦痛より脱する事が出るのであらうか。……天地自然の運行は、吾等を現實より容赦なく、測し去るので有る。發測たる生氣も、何時しか消え失せて、ひたすら、厭世のみが、心中を往來するのである。!!噓か、る人々が増えたならば、結局世界は、如何になるので有るか。粟粒の様な此の日本國は、忽にして、壊滅の止むなきに到るで有らふ。世界の前途も亦知るべきで有る。……然し而し、詩人は詩人カーライルの言葉を、聞かねばなりません。

自然を深く掘れよ、掘つた底には無限の音楽が囁いて居る。今吾等の、此の小我を捨て、大我に没入するの時、恰も宇宙本然の囁きに共鳴して、天然法爾の一大生命を、得るので有る。

と、所謂大なる自然の流れに一如して、有限なる人生に不朽なる生命の躍動を、見出すので有ります。ダンテの戯曲、ミケランジェにの彫刻、皆是れ自然の流に外ならないので有る、即ち彼等は、大我に合致して、審美の靈光に浴し、無限の生命を、戯曲し、彫刻した人々で有ります。

瑞雲綬繾たる大内山の一角に武裝せる楠公の銅像は抑も、我等に何を物語つて居るので有るか。將又香煙縷々として、斷えざる、高輪泉岳寺の地下に安らげく眠れる四十七士は、抑も我等に、何を物語つて居るので有らふか。國賊を拂ふ鎧の袂しくれ涙燥かぬ南朝の忠臣、楠公の盡忠は、我等の肉となり骨となつて居るのでは有りませんか、彼等は自分自身を徹底的に、透見したもので有ります。

さすれば我等人間は、自分自身の價値を、徹底的に知らなかつたならば、已に朽ちたる、埋木の如きもので有る。自然は人生の破滅であり、窮極であり、而も亦人生をして、神聖にし高尚にし且つ意義あらしむるもので有る、偉大なる哉自然のク

ラフト……自然を抱擁し懷從して、永遠の生命を獲たとて、光と力が無つたならば、濁々と流れて止まぬ、川水で有ります。崇高なる人格者には、光と力を、自然が捧げるものである、崇高なる人格者たらんには、崇高なる人格者に、同化せざる可からず。所謂感性より悟性へ、不純より純へ、不信より信へ、入つた時に、始めて獲得する事が出来る、唯一絶待の、人格で有る。此の正しき信を得るならば、其處に絶大の感化力を得、其の体宇宙に遍く、其の徳宇宙に充ち生無く滅なく、常住永遠の生命を、見出す事が、出来るので有ります此の偉大なる人格者は抑も誰ぞや、奔濤激流岩を嚙んで、流る、富士川の水な上、此處身延栖神の靈碕に在す、日蓮大聖人其の人で有ります。

日蓮上人曰く、「日本國の有無は日蓮に依りて定まるなり」と、大獅子吼せられたる、大抱負と大慈悲とは、有史以來未だ且つて、有らざる事有ります。

富士川の水が流れて、大平洋となり、大平洋の

海の水はロンドン、ティムス河の水に、接觸してゐる限り、日蓮の靈光、否な日蓮上人不朽の生命は、世界人類の血液と流れ、萬有の上に、恩寵と、光榮とを、並與して止まぬものと、信するので有る。

萬場の諸君!!我等には、崇高なる人格者と、爲り得らる、素質が有ります。乞願くば、緊禪一番國の爲め、人類の爲に、靈界の偉人、日蓮大聖人を知り給へ。

以上

學問の軌範

高山 惠 忍

世の中に學問ほど有益な且遠大なものはない。座して宇宙萬物の真相を知り千萬年後に生れて千萬年の前を如り又千萬年後をも推究することが出来る、これ皆學問の徳である、故に吾々が世に處して行くに是非ともなくてはならぬものである、世